mono

CONTENTS

©WPP（禁・無断転載）
AD・表紙デザイン：若山トシオ　DTP：ベイス、インサイド
表紙写真：コマツ
2014.12-2No.726

特集担当者のおすすめ!
オーストラリアの鉱山、摂氏50度を超える過酷な環境で働き続けているコマツの巨大ダンプトラック「930E−ＡＴ」。実はこのダンプにはドライバーは乗っておらず、遠隔操作によって無人でひたすら働き続けている。2008年から稼働しだしたこのシステム、世界に誇れる日本のテクノロジーなのだ。

働くクルマ 022

スペシャルなファンクションをもった働くクルマたちはわれわれ見る者に特別な興味を起こさせる。トラックやダンプ、ショベルといった建機のみならず、バスやタクシー、移動販売車、移動図書館からピックアップトラックまで!　なんて考えるとわれわれの周りは働くクルマだらけということになる。実は身近な働くクルマを様々な切り口でお届けする。

話題のドラマ『素敵な選TAXI（センタクシー）』徹底取材 ……022
限定生産で大人気!　トヨタランドクルーザー70に乗る ……024
日本の働くクルマは軽トラだ!　ハイゼットVSキャリイ ……026
アメリカいちの働き者フォードF-150 ……028
日野自動車歴史ミュージアムに行こう ……030
働く玩具カタログ ……032
ヤマハYPAS号とUCC上島珈琲カフェスマイル号ミニ ……034
働くクルマの映画大集合 ……036
自衛隊最新輸送車「PLS」 ……038
空港で働くクルマ ……040
パトカーをもっと知ろう! ……042
ジープ誕生物語 ……043
雪に浮く鉄百足〜雪上車物語 ……044
知識欲満載〜移動図書館物語 ……046
にっぽんの屋台骨!　働くクルマの歴史と進化 ……048
働くクルマQ&A ……050
働くクルマはとにかくタフ!　俺たち20万㎞倶楽部 ……054
日本で作られた初めてのバス ……058

編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。◎次号のモノ・マガジンは12月2日（火）発売です。

mono

CONTENTS.2

2014.12-2No.726

今月のイチ押し!

市販初！　全国の地図が自動で更新されるカーナビが登場！　富士通テン・イクリプス『AVN-SZX04i』は、毎月1回、全国すべての道路が自動で更新される他、定期的に更新する施設情報を利用したリアルタイム検索などいつも最新のデータを使ったナビが楽しめる。詳しくはp75を見てみよう。

【特集】快適&安全・安心 …… 073

カーナビベストバイ

今季のカーナビ選びのポイントは、ズバリ快適＆安心・安全。このキーワードを元に最新機種をわかりやすく紹介していく。カーナビ初心者からカーナビを買い替えようと思っている人必見！ ピッタリなカーナビはきっとある!!

【特集】2015年、進化の方向性が見える …… 080

スマートフォン&タブレットの次はこっちだ!

大小引っさげて登場したiPhoneを皮切りに、今年も秋冬の新作が出揃った。「ラインナップが知りたい」「どこがスゴいの？」「VoLTEって何」……そんな心の声、受信しました！　8インチクラスが活況のタブレットを含め、スマタブの今を発信する。

【特集】実戦で研ぎすまされた機能美 …… 128

進化するミリタリーバッグ

ミリタリー・バックパックの必須条件は、過酷な状況下でも使用できるすぐれた耐久性と装備を確実に運べる機能性。そして軽量であることが挙げられる。ここに戦場を駆け抜けて進化を極めた、選り抜きのミリタリー・バックパックを紹介しよう。

【特集】 …… 153

PAILOT RIVER THE BEGINNING

ベースにあるREDMOONのイメージを転換し、鮮烈なデビューから3年が経ったいま、更なる高みを目指しPAILOT RIVERの挑戦は続く。究極のモノづくりをする一方で高品質のファクトリー生産も手掛けるブランドの“いま”を紹介。

モノテイスティング …… 009
mono編集部のモノ差し …… 013
うーん、うなるモノ …… 020
monoshop新聞 …… 094
新作ムービー情報 …… 100
NEW PRODUCT INFORMATION 新製品情報① …… 105
薀蓄の箪笥 …… 110
イカがなモノ図鑑 …… 117
モノ進化論 …… 144
NEW PRODUCT INFORMATION 新製品情報② …… 170
monoの大捜査線 …… 172
ゲームmono …… 186
実戦主義道具学 …… 190
槙田紗子のいってきまきた!!　やってきまきた!! …… 192
みうらじゅんの今月の宝物BEST2 …… 193
タコ・モノ倶楽部 …… 194
読者プレゼント&インフォメーション …… 195
バックナンバーリスト …… 200
次号予告 …… 201

編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。◎次号のモノ・マガジンは12月2日（火）発売です

働くクルマ

男のビタミン

人を乗せモノを運び
そして寡黙に仕事に徹する。
働くクルマには、それを御する
男たちの人生が投影されている。
そこにロマンがあるからこそ
僕たちは夢中になるのだ。
話題になる事間違いなしの
働くクルマのネタが満載!

話題のドラマ「素敵な選TAXI」に登場するのは

“クジラ”クラウン!

白熱のロケ現場に潜入取材してきたぞ!

主人公 **枝分**(えだわかれ) プロフィール

乗客を過去の希望する地点に運べる「選TAXI」の運転手。飄々と話し見た目はクールだが、乗客に対して意外と話好きでお節介。プライベートや過去はすべて謎。

働くクルマ“選TAXI”のキモは、通常のタクシーの料金メーターの位置にある現在と過去をつなぐタイムスリップメーター。デジタル表示の時計で、戻りたい時間をセット。上が現在の時刻で下が過去の時刻。枝分が下のダイヤルを回して戻りたい日時にセットする。タイムスリップを開始すると“戻車”表示になる。

竹野内豊さん **登場!**

10月下旬、都内の某公園で行われたドラマの撮影現場に潜入。撮影の合間に気さくに話かけてくれた枝分を演じる竹野内さんはもちろん、“選TAXI”を実走体験済み。クルマは'73年式だが、「路面の感じが直に伝わってきたり、より“走っている”感のあるクルマですね!」。

働くクルマのロケ現場に突入!

「これといったタイムスリップ感はありませんが、ちゃんと過去に戻ってます」

俳優・竹野内豊さん演じるタクシー運転手・枝分のセリフのとおり、いわゆるSFとは異なるレトロな風貌なそのクルマは4代目トヨタクラウン・スーパーサルーン、通称“クジラ”をレストアしたものだ。「タクシーでありつつ、オリジナル感を強く出すためレトロでかわいいデザインの車種を検討した結果、この象徴的なクルマに出会った」(美術スタッフ)というが、もとの状態がわからないレストアぶりが凄い。

「リアリティを出すために普通のタクシーの質感に近づけ、マークなどのディテールで“選TAXI”らしさを演出した」(同)というクルマを四方から舐めるように見ていくと、まずフロント中央にシンボルの“枝分”マーク、サイドには“選TAXI”のエンブレムに、“優良”運転マークなど、そのディテールから本気度がヒシヒシ。詳しくは下のキャプションを参照してほしいが、竹野内さんも「むかしのクルマなのにどこか近未来的な造形美がいいですね」とご満悦だ。極めつけは竹野内さんが着用している制服。

左胸の“枝分”バッジに加え、ベスト、パンツのボタンはすべてタイムスリップにちなんだ時計のカタチと、正直、ここまでやるか! ちなみに、通常のタクシーは緑ナンバーだが、“選TAXI”は実走でき、かつフィクションということで白ナンバーになっている。

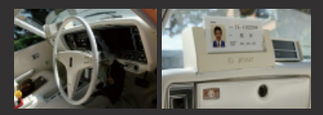
ロケのランチ休憩の合間にスタッフの快諾をもらって、記者も“選TAXI”に体験乗車。真っ白にレストアされた車内は開放感にあふれ、カラダに合わせて沈むシートも気持ちイイ! 枝分氏の定位置である運転席を拝見すると、レトロな細いハンドルに、実はオートマだった…など意外な発見もいっぱい。“選TAXI”のディテールを知れば、ひと味違ったドラマの楽しみ方が増えるゾ!

素敵なこだわりポイントがいっぱい

★パーツ★

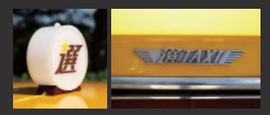
こだわりの“枝分”仕様は外装のみならず。車内に置いてあった枝分専用水筒や勤務記録シートなどの備品、クルマのギアやお客様の乗る後部座席のドアを開けるレバーなどパーツ類なども“枝分”マーク入り。

★内装★



内装は篤昌也監督の「真っ白で不思議な雰囲気に」というリクエストを反映してフロントパネル、ハンドル、シートとすべてを白に。機械感を残すため、計器類には黒を残した。乗って見るとなんとも明るく開放的な室内。これなら人生の選択をやり直すのにピッタリ!?

★外装★



選TAXIは過去にタイムスリップするため、セピアの色調をイメージしてカラーリング。ボンネットから枝分かれしている茶色のラインがポイントとか。クルマ上の“選”マークやボディ側面のエンブレムなど、こだわりが随所に。

制服にもこだわりが!

枝分が着用する制服の左胸には“枝分”マークのバッジ、ベストのボタンは時計と凝りまくり!

★ステッカー★

タクシーは窓に貼っている広告ステッカーも特徴的だが、“選TAXI”ではオリジナルのステッカーや利用案内パンフも。利用料金は初乗10分3000円で、加算は1分戻るごとに330円。3時間戻ると6万円超えコースだ。

貴方の運命を変える働くクルマはタクシー

いま最も旬な働くクルマといえば、俳優・竹野内豊さん主演の連ドラ「素敵な選TAXI」に違いない。ファンたちの間でも話題沸騰中の人気車“選TAXI”の秘密を徹底解剖!

関西テレビ・フジテレビ系

素敵な選TAXI 火曜22:00〜

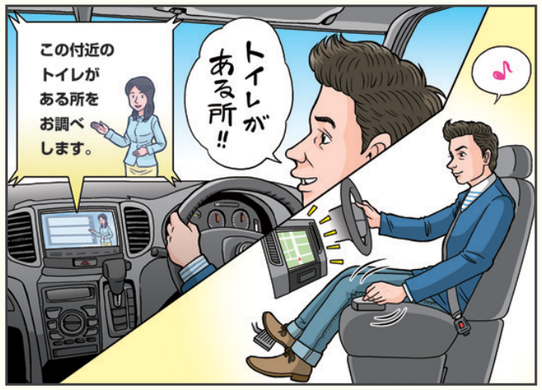
竹野内さん演じるタクシー運転手・枝分が、人生の岐路に立たされた乗客を“選TAXI”でタイムスリップで人生の分岐点にもう一度連れて行き、人生のやり直しのチャンスを与えるエンターテイメントドラマ。脚本はお笑い芸人・バカリズムさんが担当。

文／下川冬樹　写真／油科康司(WPP)

カーナビ選びのキーワードは 安と快

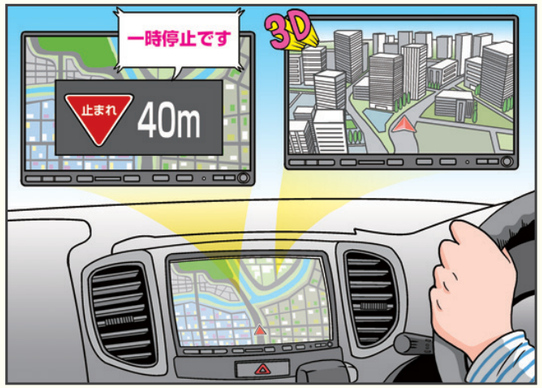
今季もさまざまな機能を持ち、種類も豊富なカーナビが出揃った。各メーカーの最新のカーナビのコンセプトを見てみると、〝安全・安心〟、〝快適〟といったキーワードが多く見られた。どれを選んでよいか、迷っているなら、このキーワードで選んでみるのはどうだろうか。

イラスト／奈良裕己　文／モノ・マガジン編集部



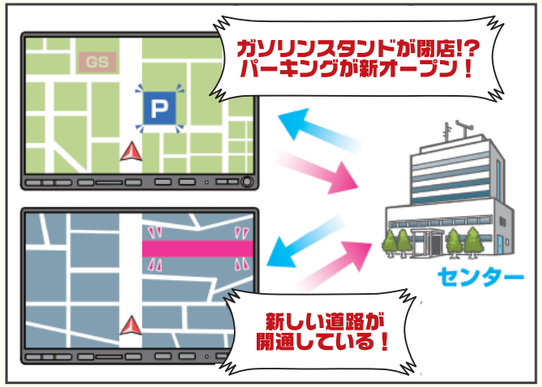
安 快 ドライブ中でも操作しやすいか？

走行中にナビを操作するのは非常に危険。対話型音声認識機能や、手元でカンタンに操作できるリモコンで、視線をそらさずに検索ができるか？



安 安全・安心運転のサポートが充実しているか？

安全・安心にこだわった音声案内、初めての土地や街でも直観的に分かりやすい画面表示をしているか？　施設出入口まで案内する親切ガイダンスか？



快 新しい情報にアクセスしやすいか？

全地図更新や差分更新がいつでもカンタンにできるか？　最近できた施設や道路情報に対応しているか？　目的地の駐車場情報が充実しているか？

最新のカーナビはこの3ポイントで選べ！

今季も各メーカーからカーナビの新製品が出揃った。各社のラインナップを俯瞰してみると、〝安全・安心〟、〝快適〟といったキーワードが多く見受けられた。

そのキーワードの背景としてはシニア層が増えたことによる死亡事故の増加があげられる。そのため、交通事故や交通違反を未然に防ぐ注意喚起や危険回避を促す安全・安心サポートがいちばんカーナビに求められている機能なのだ。

たとえば、初めての土地や街を運転する場合、カーナビの地図が一目で見やすいか、直観的に分かりやすい表示をしているか、が大きな安全・安心のポイントとなる。

次に運転中でもナビ検索できるという点も安全で快適なドライブをする上で重要だ。今までのナビならいったん停止してから、検索せねばならず、しかも手動で時間もかかるし、打ち間違えたりしてイライラ……なんてことも。しかし、対話型音声認識機能を持つカーナビなら、走行中でもナビ画面を注視することなく、言葉で目的地設定ができる。子どもが急にトイレに行きたいけど、どこを検索したらいいのか……といったシーンでも、対話型なら単語だけでなく、文章も理解できるので、運転中でも慌てずスムーズな検索が可能となる。

3つ目のポイントは最新情報に常にアクセスできるか？　ということ。新しいバイパスが開通していたのなら、こっちのルートが良かった…、行ってみたらガソリンスタンドがなくなっていた…、目的地に着いても駐車場がどこも満車…などなど、常に変わり続ける街の情報に対応できているかが、カーナビ選びでは大切な要素だ。

全国地図が自動更新 つながるフューチャーリンク

文／印南敦史

日々変化し続ける道路状況を、手間なく更新することが可能。検索もPCやスマホなみにスムースで、さらには駐車場の案内まで。そんな至れり尽くせりのカーナビが登場したことで、ドライブの快適性は確実に高まる！

いまや、ドライブにカーナビは不可欠。しかし道路状況が日々刻々と変化している状況下では、新しい地図データを自分で（しかも、多くの場合は有料で）更新しなければならないという手間から逃れられないのも事実。だが、そんな悩みからもついに解放されることになりそうだ。富士通テンの「イクリプス」は、今秋発表した、つながるサービス〝フューチャーリンク〟の第1弾として通信ユニットを同梱しセンターとの連携を実現。これにより、毎月1回、全国の道路の最新状況を自動更新してくれる。これは市販のカーナビとしては初の実積。また、PCやスマホにくらべると面倒だった検索も、予測候補表示、AND検索、フリーワードでの目的地検索などによって素早く快適に。さらには目的地の2㎞手前で近隣の空いている駐車場を案内してくれるなど、あらゆる機能を満載。つまり確実に、より快適なドライブを実現できるというわけなのだ。

AVN-SZX04i
富士通テン／イクリプス

㊐富士通テンお客様相談窓口 0120-022210　http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/

毎月1回、全国の道路が自動更新

センターにある最新の地図とAVN本体にある現状の地図を照合し、最新の道路データを自動ダウンロード。手間をかける必要なく、毎月最新の地図によるナビゲーションを利用可能。

フリーワードでスムース検索

2ヵ月に1回以上更新されるデータベースをもとに検索でき、最新の施設も目的地に設定可能。ウェブでの検索と同じく、ある程度文字を入力すると予測候補をリスト表示してくれる。

目的地2㎞手前で駐車場案内

目的地の2㎞手前に近づくと、自動で検索開始。検索結果は、リアルタイムの満空状況を色分けしたアイコンで表示。目的地設定までできるので、目的地到着後、駐車場を探しまわることもない。

会話検索アプリcarafLも進化

スマホとカーナビをWi-Fiでつなぎ、会話で目的地検索できる「CarafL」も進化している。たとえば、家でスマホからナビの目的地予約が可能に。またナビ操作やAVメニューの切替も音声でできる。

AVN-SZX04i

オープン価格（想定価格20万円前後）

同梱の通信ユニットがセンターとつながり、接続や手続きの手間なく毎月1回、全国の道路が自動更新（2017年10月末まで無料）。フリーワードでの目的地検索など、最新の機能を満載した、カーナビの決定版だ。

2014年秋冬発売の最新端末は何がトレンド?

スマホは5インチオーバーの大画面が常識だ!

年末商戦に向けて、この秋冬のスマートフォン新モデルが販売され始めた。大画面がトレンドだが、小型端末も根強い人気がある。専門家に動向を解説してもらいながら、選ぶ際の注目ポイントをあげてもらった。

文／房野麻子

モバイルの達人が解説

ケータイジャーナリスト
法林岳之氏
Web媒体や雑誌などで、スマートフォンやパソコンなどデジタル機器のレビュー、ビギナー向けの解説記事などを執筆。「できるシリーズ」(インプレスジャパン刊)など著書多数。

画面サイズとともに解像度も重要

世界的に、スマートフォンは画面サイズが5インチ以上の大画面モデルが主流になりつつある。携帯電話で電話をするよりも、ウェブサイト閲覧や動画の視聴、ゲームで遊ぶことなどが多くなるにしたがって、表示が見やすい大画面化が進むのは自然な流れだと、ジャーナリストの法林氏は分析する。

「大画面スマートフォンは、ポケットに入れられる6インチくらいを限界に定着するでしょう。今後は携帯性重視の人向けに4インチ台モデル、インターネットやネットコミュニケーションを多用する人向けに5インチオーバーモデルと二分していくと思います。新しいiPhoneが4・7インチと5・5インチの2モデルを出したことで、その方向性が示されました」(法林氏)

また画面サイズと同時に、解像度も重要だと指摘。

「今冬はWQHD(2560×1440ピクセル)ディスプレイを搭載する機種が増え、4インチ台もいずれフルHD化される。コストとの兼ね合いでしょうが、高解像度を求める人は一定量いますし、5・5インチ以上はWQHDが見やすいでしょうね」(法林さん)

以上のようなトレンドを把握して、自分の使い方に合ったモデルを選べばいいのだが、数ある大画面スマホから1台を決めるのは難しいと法林氏。「スマートフォンは商品として完成度が高まっていて、今はどれを選んでも外れがない」状態だという。ただし、いわゆる"格安スマホ"は注意が必要だと指摘した。「使い勝手がよくないものもあります。少なくとも名の知れたメーカーのモデルを選ぶことをお勧めします」(法林氏)

インターネット利用が多いなら5インチオーバー

iPhone 6 Plus

ドコモ/au/ソフトバンク/SIMフリーLTE　5.5インチ

価格7万9800円～9万9800円(SIMフリーLTE)

問NTTドコモ/au KDDI/ソフトバンク/Apple Store

5.5インチ液晶を搭載した大きい方のiPhone 6。ピクセル密度が401ppiとiPhone 6より高精細だ。カメラに光学式手ブレ補正機能を搭載し、横向き表示を備えている点もiPhone 6と異なる。

SPEC

●サイズ:W77.8×H158.1×D7.1mm ●重量:172g ●ディスプレイ:5.5インチRetina HDディスプレイ ●カメラ画素数:メイン800万／サブ120万 ●内部メモリ:16GB、64GB、128GB ●CPU:A8チップ ●電池容量:非公開 ●防水／防塵:×／× ●カラー:ゴールド、シルバー、スペースグレイ

Xperia Z3

ドコモ/au/ソフトバンク　5.2インチ

問NTTドコモ/au KDDI/ソフトバンク

Xperia Z2のテイストを残しつつ完成度を高めたモデル。本体はさらに薄く、軽くなり、カメラはISO12800での高感度撮影が可能になった。ヘッドフォンアンプなどを使わずハイレゾ表現の音を聴ける。

SPEC

●サイズ:約W72×H146×D7.3mm ●重量:約152g ●ディスプレイ:約5.2インチフルHD TFT液晶 ●カメラ画素数:メイン2070万／サブ220万 ●内部メモリ:RAM3GB/ROM32GB ●CPU:2.5GHzクアッドコア ●電池容量:3100mAh ●防水／防塵:○／○ ●カラー:ホワイト、ブラック、カッパー、シルバーグリーン

GALAXY Note Edge

ドコモ/au　5.6インチ

問NTTドコモ/au KDDI

WQHD(2560×1440ピクセル)のメイン画面に160ピクセル幅のエッジスクリーンを加えた有機ELディスプレイを搭載。エッジスクリーンからアプリを起動したり、各種情報を確認したりできる。

SPEC

●サイズ:約W82×H151×D8.5mm ●重量:約177g ●ディスプレイ:約5.6インチスーパー有機ELディスプレイ ●カメラ画素数:メイン約1600万／サブ約370万 ●内部メモリ:RAM3GB/ROM32GB ●CPU:2.7GHzクアッドコア ●電池容量:3000mAh ●防水／防塵:×／× ●カラー:フロストホワイト、チャコールブラック

isai VL LGV31

au　5.5インチ

問au KDDI

夏に登場した「isai FL」を踏襲しつつ、高い通話品質を実現する「au VoLTE」に対応。WQHD液晶、大容量3000mAhの電池を搭載するほか、メモリが3GBに増加した。日本国内で3Gは非対応だ。

SPEC

●サイズ:約W76×H145×D10.5mm ●重量:約154g ●ディスプレイ:約5.5インチWQHD AH IPS液晶 ●カメラ画素数:メイン約1310万／サブ約210万 ●内部メモリ:RAM3GB/ROM32GB ●CPU:2.3GHzクアッドコア ●電池容量:3000mAh ●防水／防塵:○／○ ●カラー:アクア、ブラック、ピンクゴールド

AQUOS ZETA SH-01G

ドコモ　5.5インチ

問NTTドコモ

三辺狭額縁"EDGEST"デザインや省電力なIGZO液晶を採用。人工知能"エモパー"の語りが楽しい。「RICOH GR」開発メンバーによる認証プログラム「GR Certified」を取得したカメラ画質も魅力だ。

SPEC

●サイズ:約W76×H141×D8.9mm ●重量:約159g ●ディスプレイ:約5.5インチIGZO ●カメラ画素数:メイン約1310万／サブ約210万 ●内部メモリ:RAM2GB/ROM32GB ●CPU:2.3GHzクアッドコア ●電池容量:3300mAh ●防水／防塵:○／× ●カラー:インディゴ、コーラル、ホワイト、シアン

URBANO V01

au　5.0インチ

問au KDDI

isai VL同様、au VoLTEに対応する2モデルのうちの1つ。本体正面の3つのキーは従来機から好評の物理キーを採用したほか、ディスプレイパネルが振動して音を伝える「スマートソニックレシーバー」も引き続き搭載した。

SPEC

●サイズ:約W70×H141×D9.9mm ●重量:約155g ●ディスプレイ:約5.0インチフル TFT液晶 ●カメラ画素数:メイン約1300万／サブ約97万 ●内部メモリ:RAM2GB/ROM16GB ●CPU:2.3Ghzクアッドコア ●電池容量:3000mAh ●防水・防塵 ●防水／防塵:○／○ ●カラー:ロイヤルブルー、プラチナホワイト、フォレストグリーン

ARROWS NX F-02G

ドコモ　5.2インチ

問NTTドコモ

四隅がカットされたような個性的なフォルムが印象的。WQHDの高精細ディスプレイや従来モデルの約3倍という高速ダウンロード機能が売りだ。日本語入力システム「Super ATOK ULTIAS」も好評。

SPEC

●サイズ:約W74×H145×D9.5mm ●重量:約168g ●ディスプレイ:約5.2インチTFT液晶 ●カメラ画素数:メイン約2070万／サブ240万 ●内部メモリ:RAM 3 GB/ROM32GB ●CPU:2.3GHzクアッドコア ●電池容量:3500mAh ●防水／防塵:○／○ ●カラー:ホワイト、ブラック、オレンジ

GALAXY S5 Active

ドコモ　5.1インチ

問NTTドコモ

ハイスペック端末「GALAXY S5」と同等の機能を持ちながら、MIL規格対応の耐衝撃や耐温度、防水・防塵性能を備えるタフネスモデル。アプリを一発起動できるアクティブキーを側面に装備する。

SPEC

●サイズ:約W74×H145×D9.2mm ●重量:約171g ●ディスプレイ:約5.1インチスーパー有機ELディスプレイ ●カメラ画素数:メイン1600万／サブ210万 ●内部メモリ:RAM2GB/ROM16GB ●CPU:2.5GHzクアッドコア ●電池容量:2800mAh ●防水／防塵:○／○ ●カラー:カモグリーン、チタニウムグレイ

AQUOS CRYSTAL X

ソフトバンク　5.5インチ

問ソフトバンク

狭額縁を究極まで追求したフレームレス構造を持つ、独自のディスプレイを採用。AQUOS ZETAと同様、エモパーや、本体を持つだけでさまざまな操作が可能なグリップマジックを搭載。12月発売予定。

SPEC

●サイズ:約W73×H139×D11mm ●重量:000g ●ディスプレイ:約5.5インチフルHD S-CG Silicon液晶 ●カメラ画素数:メイン約1310万／サブ約120万 ●内部メモリ:RAM2GB/ROM16GB ●CPU:00GHzクアッドコア ●電池容量:2610mAh ●防水／防塵:×／× ●カラー:レッド、ホワイト、ブラック

ポータビリティを重視するなら4インチ台

iPhone 6

ドコモ/au/ソフトバンク/SIMフリーLTE　4.7インチ

価格6万7800円～8万9800円(SIMフリーLTE)

問NTTドコモ／au KDDI/ソフトバンク/Apple Store

iPhone 5sから0.7インチ画面サイズが大きくなったが、より薄く軽くなって持ち心地がいい。iPhone 6 Plusとの機能差はごく一部で、従来のiPhoneから違和感なく乗り換えたいならこちらがお勧め。

SPEC

●サイズ:W67×H138.1×D6.9mm ●重量:129g ●ディスプレイ:4.7インチRetina HDディスプレイ ●カメラ画素数:メイン800万／サブ120万 ●内部メモリ:16GB、64GB、128GB ●CPU:A8チップ ●電池容量:非公開 ●防水／防塵:×／× ●カラー:ゴールド、シルバー、スペースグレイ

Xperia Z3 Compact

ドコモ　4.6インチ

問NTTドコモ

Xperia Z3の同等の機能をコンパクトボディに凝縮。内部メモリがこちらは2GBだが、性能や機能はほぼ同じだ。サイドのフレームに透明感のある樹脂を採用し、Xperia Z3とテイストが異なるか、こちらのデザインも好評。

SPEC

●サイズ:約W65×H127×D8.6mm ●重量:約129g ●ディスプレイ:約4.6インチHD TFT液晶 ●カメラ画素数:メイン約2070万／サブ220万 ●内部メモリ:RAM2GB/ROM16GB ●CPU:2.5GHzクアッドコア ●電池容量:2600mAh ●防水／防塵:○／○ ●カラー:オレンジ、ホワイト、ブラック、グリーン

Nexus 6

ワイモバイル/SIMフリーLTE　6.0インチ

価格7万5170円～8万5540円(SIMフリーLTE)

問ワイモバイル／Google

"素のAndroid"を使えるNexusシリーズ新モデル。WQHDディスプレイや光学式手ブレ補正機能付きカメラ、3220mAhの電池を搭載し、OSはAndroid 5.0 Lollipop。もちろんSIMロックフリーだ。

SPEC

●サイズ:82.98mm×159.26mm×10.06mm ●重量:約184g ●ディスプレイ:約6.0インチ有機ELディスプレイ ●カメラ画素数:メイン約1300万／サブ約200万 ●内部メモリ:RAM 3 GB/ROM32GB、64GB ●CPU:2.7GHzクアッドコア ●電池容量:3220mAh ●防水／防塵:○／× ●カラー:ダークブルー、クラウドホワイト

問NTTドコモ☎0120-800-000、問au KDDI☎0077-7-111、問ソフトバンクモバイル☎0800-919-0157、問Apple Store☎0120-993-993、問サムスン電子ジャパン☎0120-327-527、問ワイモバイル☎0570-039-151、問Google https://play.google.com/store/

※セルラー端末の価格は、キャリアや、購入時のキャンペーン実施状況によって異なるため、省略いたします。

ミリタリー・バックパックの機能

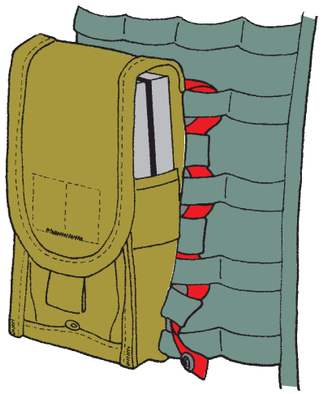
文／菊月俊之

Photo/DOD

いまやミリタリー装備だけでなく、市販のバッグやポーチでもおなじみの“MOLLE”。しばしば“モール”とも呼ばれるが、本家のアメリカ軍は“モリー”と発音している。“MOLLE”とは“MODULAR LIGHTWEIGHT LOAD-CARRYING EQUIPMENT”の頭文字を取ったもので、直訳すると「組み立て式軽量携行装備」くらいの意味。MOLLEは任務に合わせて装備を組み上げられるのが特徴で、用途別の各種ポーチやバッグが存在する。

名前のトップに来る“モジュラー”という単語だが、名詞形の“モジュール”は「機能単位」、「構成部品」といった意味で、システムを構成する部品群のこと。そして定められたシステムに基づき、ユニット方式で作られた部品を“モジュラー”と呼ぶ。そしてMOLLEの基本となるシステムが“PALE”だ。これは“POUCH ATTACHMENT LADDER EQUIPMENT”の頭文字を取ったもので、直訳すると「梯子状ポーチ装着式装備」くらいの意味になる。PALEはアメリカ陸軍ナティック研究所が開発したもので、装備の基本となるプラットフォームに付けられたループと、ポーチに付けられたストラップ＆ループで構成。ポーチのストラップをプラットフォームとなる装備と、ポーチのループに通して両者を連結するシステムだ。

MOLLEを構成するアイテムには各種バックパックが含まれており、①ラージリュック（フレームに装着）、②アサルトパック、③ウエストパックの3種類が存在。これを任務や状況に応じて組み合わせるようにデザインされている。その組み合わせは①ライト・ファイティング・ロード（軽量戦闘装備）、②アサルトパック・ロード（攻撃パック装備）、③フルパック・ロード（完全パック装備）に区分。①がウエストパックのみで、②がウエストパックとアサルトパックを使用。そして③が②の攻撃装備にフルパックを追加したもので、アサルトパックはフルパック本体に装着するシステムとなっている。



㈱中田商店☎03-3839-6866 http://www.nakatashoten.com/

真剣で研ぎすまされた機能美

進化するミリタリー・バックパック

HELIKON-TEX

レーザー切断のMOLLE対応パネルを採用したヘリコンテックス

東欧ポーランドで生まれたブランド、ヘリコンテックス。共産国家当時の1983年（同国が共和国となったのは89年）に軍の放出品を扱うサープラス業者としてスタートし、その後90年代に入り、ミリタリー・マーケットにおけるトレンドや需要の変化を受けて新たな方向性を模索。99年には軍や警察および法的執行機関、さらには民間警備会社を対象としてタクティカル装備の製造販売を開始する。その製品は今回紹介するリュックサックを始めとする各種装備、ユニフォーム、ブーツと多岐にわたる。現在ヘリコンテックスはヨーロッパを中心に活動しており、その製品は軍や警察機関以外にもアウトドアやファッションの部門でも注目のブランドとなっている。

フォックストロット

価格1万1800円

手提げ、ショルダーとしても使用可能なウエストバッグで、本体に3個のポケットが付くほか腰ベルトにもポケットが設けられている。レーザー切断のMOLLE対応パネル付き。

メッセンジャー

価格1万2800円

13inまでのノートPC等を収納可能な、MOLLE対応パネル付きショルダーバッグ。ストラップは着脱式で、バッグ前部と両側に収納ポケットが付く。サイズは35×26×13㎝。

パック本体内部の裏地はメッシュが使用され、各種アイテム収納用のポケットが付属する。

パック外部にはサブポケットと小型のサイドポケットが２つずつ設けられている。

パック内部にはクッション式のポケットが付き、最大15inのノートPC等を収納できる。

パック背面は成形樹脂パッドで通気用の溝を作り、行動中の快適性を確保している。

東欧から来たミリタリー・バックパック

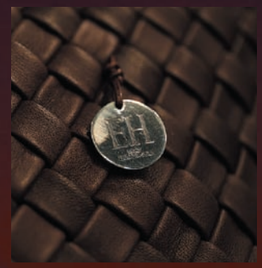
ドラゴンエッグ 価格1万6800円

短期間のパトロールを想定してデザインされた容量25ℓのパックで、レーザー切断のMOLLE対応パネルが特徴。同じデザインで容量が20ℓの“ダスト”も存在する。素材には500Dコーデュラを使用しており、色はOD（オリーブドラブ）とコヨーテの２種類が用意されている。

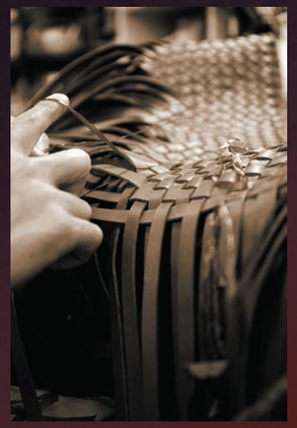
オススメ

ヴィレッジワークスの果てなき挑戦

革製品のサヴィル・ロウとして究極のアトリエ・メイドをする一方で、更なる高みに到達すべくヴィレッジワークスの挑戦は続く。高品質のファクトリー生産も手掛け始めたビルダー達の〝いま〟とは？



パイロットリバー〝水先案内人〟。アーリー・ハリウッド〝ゴールデン・エイジ〟主義。レッドムーン流のモノづくりをベースに新たな世界観でレザー・スタイルを提案し、衝撃のデビューを飾ってから3年。最新のデザインでレザー・アイテムの未来を提示し、多くのファンをつかんでいるアトリエ・ブランド。仕掛け人は後藤恵一郎氏。時代の流れを見極めながら、魅力のある製品をプロデュースし続ける。そんな氏が〝いま〟を表現したバッグがある。細い革パーツを緻密に編み込んで、上品な重厚感を身に纏ったバッグ〝フィガロ〟と〝リヴィエラ〟。ブランドは〝アーリー・ハリウッド〟。ご覧のようにこのバッグはユニセックスで、性別を選ばない。しかしながら、持つ人の〝格〟を向上させてくれるハイエンドなバッグなのだ。幾重にも編み込まれた革パーツは、ちょっとでも緩むとカタチが崩れてしまうため、角度を測りながら締め上げる。気の遠くなるような地道な作業だ。さらに中に荷物を入れて使用するうちに、その重量で革目が詰まって締まってくる。この未来を見据えた構造は、後藤氏が経験によって培った造形学的見識のなせる技なのである。この〝フィガロ〟と〝リヴィエラ〟、すでに日本のみならず、各国のファンからもオーダーが寄せられている。



リヴィエラ

Riviera

early HOLLYWOOD
オリジナルのオイルレザーを両面に貼り合わせ、外側も内側も全てレザーの表面になるように編込まれた贅沢な逸品。925 Silverのチャームがワンポイント。
EH-RIVIERA-TY（OCB）39万9600円、サイズ：W57-47×H33×D18㎝、ハンドル52㎝

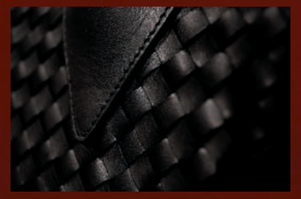
被せフタを仕込んだミディアムサイズ。EH-RIVIERA-HC（OBK）34万5600円、サイズ：W48-35×H28×D18 ハンドル41.5㎝

ソフトな質感のグローブレザーを巻き込んだレース仕立て。ミディアムサイズ。EH-RIVIERA-M（GCB）25万9200円、サイズ：W48-35×H28×D14 ハンドル46㎝

フィガロ

Figaro

early HOLLYWOOD
仕立屋の名のとおり完全受注制作。サドルレザーで編み込んだスタンダードサイズ。EH-FIGARO（SNT）39万9600円（ライナー無）、44万2800円（ハリスツイードライナー付き）、サイズ：W48-37×H33×D18㎝、ハンドル55㎝



贅の限りを尽くした仕様

オーナーの希望により脱着可能なハリスツイードのライナーを仕立てる事が可能。ウィンターシーズンにはこちらをオススメしたい。

Publisher
今井今朝春
Kesaharu Imai
Editor-in-Chief
中山 基
Motoi Nakayama
Deputy-Editor
上岡 篤
Atsushi Kamioka
関谷和久
Kazuhisa Sekiya
Managing-Editor
前田賢紀
Takanori Maeda
松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki
Senior-Editor
本田賢一朗
Kenichiro Honda
Editor
小野正章
Masaaki Ono
小川太市
Taichi Ogawa
岩井良祐
Ryosuke Iwai
和田史子
Fumiko Wada
Manager
大谷 暁
Satoru Otani
Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi
Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama
Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics
Staff Photographer
熊谷義久
Yoshihisa Kumagai
油科康司
Yasuji Yushina
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda
青木健格
Takenori Aoki
宮坂政邦
Masakuni Miyasaka
Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi
Advertising Manager
荒川幸市
Kouichi Arakawa
Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa
Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa
Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Inside

Correspondents,Washington,D.C.Bureau
(Pictorial Press International)
Norman T.Hatch
Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ
http://www.monomagazine.com
モノ・マガジン・ウェブ（mo.WEB）
http://www.monomagazine.com/moweb/
モノ・マガジン・ブログ
http://blog.goo.ne.jp/monomagazine/

NEXT
次号予告

総力特集 ふだんのノートや万年筆とはひと味ちがう
プレミアム文房具が欲しい。

テレビ・レコーダーから掃除機、照明
スマホとつながる家電

ヘルシーエビ天から江戸天ぷらの再現あり
にっぽんの天ぷらはえらい！

札入れ・小銭入れ・マネークリップetc
男の財布をスマートに変える

■うーん、うなるモノ■新製品情報■モノ進化論■monoのモノ差し、他

モノ・マガジン12-16情報号 No.727
12月2日発売 定価637円（税込）

お詫びと訂正
モノ・マガジン11月２日号におきまして以下の誤りがありました。P.140に掲載の「ギグクリップス」と「アンチバイブ・ショックス」の説明文が入れ違っております。またP.141に掲載のブランド名は正しくは「ミュージック・ワークス」です。またモノ・マガジン11月16日号におきまして以下の誤りがありました。P54に掲載の、岩手県民手帳の価格は正しくは700円です。読者並びに関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけいたしました。訂正して心よりお詫び申し上げます。

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。
●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。
実勢価格は編集部調べの価格です。
●本文中のサイズ表記はW（幅）、H（高さ）、D（奥行き）を表わしています。

●モノ雑誌のパイオニア 毎月2回（2日・16日）発売
mono
発行人●今井今朝春
編集人●中山 基
発行所●株式会社ワールドフォトプレス
〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2
TEL:03（5385）5666［編集部］
03（5385）1350［広告営業部］
03（5385）5701［販売部］
FAX:03（5385）5617［編集部］
03（5385）1348［広告営業部］
03（5385）5703［販売部］
印刷所●大日本印刷株式会社